

県政を身近に! 挑戦!実行!!



香川県議会議員

さといし明敏の県政報告

第4号 令和8年

つなぐ

ごあいさつ

陽春の候、県民の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より温かいご支援と、県政へのご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今年は「午年」です。古くから馬は運気を運び、物事に「ウマくいく」縁起の良い動物とされてきました。この良き年に、皆様と共に歩む県政がさらなる飛躍を遂げ、地域の笑顔がより一層広がるよう、私自身も全力で駆け抜けてまいります。

令和8年度の予算編成を終え、本県は今、新たな挑戦のスタートラインに立っています。長引く物価高騰への対策や、地域経済の活性化、そして次世代を担う子どもたちの教育環境整備など、課題は山積しておりますが、お一人お一人の声に耳を傾け、着実に実行に移していく決意です。

皆様の暮らしがより豊かで安心できるものとなるよう、引き続き尽力してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



インド商工会議所連盟を訪問

委員会報告（令和7年度）

総務委員会

問 県内大学等と連携した若者の県内定着に向けた取り組みについて

【里石】 県立大学の設置・拡充の検討にあたって、今後どのような方向性で取り組んでいくのか。

【政策部長】 県内高校生が県内進学するような促進策、また大学と企業との橋渡しなどの支援を行い、さらに何かできることがないか、県内大学と意見交換を活発に行って、それぞれの立場で何ができるかということをし、しっかり意見交換していきたい。

問 香川国際交流会館について

【里石】 高松市中央公園の再整備にあわせて行うアイパル香川の改修について、どのような内容を考えているのか、また、今後、外国人の増加が見込まれる中、どのような方針で活用していく考えなのか。

【知事公室長】 子どもが利用できる空間やファミリートイレなどを整備するとともに、ホールや展示室も開放的で利用しやすい空間として整備予定であり、外壁や流政之氏の北庭の作品等も補修する。

「新かがわ多文化共生推進プラン」の令和9年度からの次期プランでは、多文化共生の社会づくりの中核的施設として位置づけ、取り組みを一層進めていきたい。

○調査テーマ

- ・ボランティア・NPO活動について
- ・地方税のデジタル化への取り組みと滞納整理の強化について
- ・交通事故防止抑止総合対策の推進について

【県外視察】令和7年7月30日～8月1日

長野県庁、ながの若者スクエア「ふらっとb」（長野市）、地域DXセンター「core塩尻」（塩尻市）、松代まち歩きセンター（松代町）



▲ながの若者スクエア「ふらっとb」



▲松代まち歩きセンター

県立アリーナの整備等に関わる特別委員会

県立アリーナ等を活用した地域活性化について

【県外視察】令和7年11月10日～12日

We Love天神協議会、福岡クリスマスアドベント（福岡市）、サンライズストリート、SAGAアリーナ（佐賀市）、北九州市役所（北九州市）



▲SAGAアリーナ



▲【博多駅】



福岡クリスマスアドベント

▲【中洲】

◆インド関係機関訪問◆

今後の香川県とインドとの経済交流などの連携に向けて、調査・検討を行うため、現地を訪問しました。

【海外視察】令和7年12月17日～23日

【ハイデラバード】インド工科大学ハイデラバード校、スズキイノベーションセンター（SIC）

【デリー】インド政府技能開発・起業促進省、在インド日本国大使館、インド商工会議所連、介護関係機関（AKAL Japanese Academy）、デリー職業訓練校



▲AKAL日本語学校



▲インド工科大学ハイデラバード校

皆さまのご意見・ご要望をお待ちしています。

さといし明敏事務所

香川県高松市屋島西町 2285-23（自宅）

TEL&FAX 087-844-4743

E-mail satoishikouenkai@gmail.com



HPはこちら



屋島山頂からの眺望

里石 屋島の活性化は県の重要な観光施策であるが、未利用の民有地の整備も含めた屋島の価値向上についてどのように考えているか。

知事 県も参画する「魅力ある屋島再生協議会」で、山上へのアクセス改善や廃屋への対応をはじめ、来年度の早い時期に「屋島活性化基本構想」の見直しを行うと伺っている。民間の未利用地の活用は、屋島の価値向上に資する取り組みの一つであり、山上の廃屋や旧屋島ケーブルの山上駅跡の撤去、利活用について協議している。

1 観光地屋島の魅力向上

令和7年11月議会 一般質問

2025年12月9日、11月定例議会の一般質問でさとしし明敏議員は、観光地屋島の魅力向上、民生委員の担い手確保など4項目について、理事者側の見解をいただきました。

里石 担い手不足が全国的に大きな課題となっている民生委員が果たす役割と、担い手確保のための取り組みは。

知事 民生委員は、地域福祉の重要な担い手として、誰もが安心して暮らせる地域の実現に貢献していると認識している。

2 民生委員の担い手確保

里石 これまで実施してきた渋滞対策と今後の取り組みについてお聞きしたい。また、高松市本町踏切の渋滞解消に向けて、どのような取り組みでいくのか。

3 交通渋滞対策の推進

里石 これまで実施してきた渋滞対策と今後の取り組みについてお聞きしたい。また、高松市本町踏切の渋滞解消に向けて、どのような取り組みでいくのか。

知事 協議会で特定した53箇所の主要渋滞箇所のうち、24箇所が交差点改良や信号サイクルを見直し、このうち5箇所は主要渋滞箇所から外れ、残りは効果を検証している。

本町踏切は、渋滞解消に向けて高松環状道路の整備を進めており、現在は、国の計画段階評価が完了し、具体的なルートを検討していると同っている。県は、高松環状道路の早期の事業化に向け、環境影響評価や都市計画の手続きを着実に進めていく。



慢性的に渋滞する本町踏切

4 中学校部活動の地域展開

里石 中学校部活動の地域展開に関する実証事業の取り組み状況と、各市町が円滑に地域展開を進めていくための今後の支援について教育長の考えは。

教育長 新法人の設立、地域クラブ活動の認定制度の導入、高校生や大学生などの参加による多世代活動の実践など、各市町が工夫しながら進めている。

また、国のガイドラインの改定により、認定制度や指導者確保の具体的な取り組み内容が新たに掲載される見込みである。実証事業の好事例も踏まえ、地域展開が進む市町の取り組みをモデルケースとして示し、各市町の課題を解決できるよう支援していく。



令和7年6月議会 一般質問

2025年7月2日、6月定例議会の一般質問でさとしし明敏議員は、浸水対策、子ども食堂への支援など4項目について、理事者側の見解をいただきました。

1 浸水対策

里石 浸水や河川の氾濫など、激甚化する自然災害に備え、広範囲の浸水状況の把握を速やかに実施できる設備や体制づくりについて、知事の考えは。

知事 浸水被害の発生しやすい県道のアンダーパスは、水位が基準値に達すると警報装置で通行者に注意喚起するとともに、通行止めなどの安全確保に努めており、今後は監視カメラ画像の一般公開を検討していく。



ワンコイン浸水センサ

2 保健医療福祉活動チームの連携強化

里石 南海トラフ地震の発生確率が引き上げられたことを踏まえ、大規模災害時の保健医療福祉活動チームの連携強化について、県の取り組みは。

知事 本県で大規模災害が発生した際に、被災者の状況やニーズに寄り添った迅速な支援ができるよう、昨年度から国が運用を開始した「災害時保健医療福祉活動支援システム」を活用し、DMATをはじめ、医療、保健、福祉などの各チームが、被害状況の共有や引き継ぎを円滑に行える体制づくりを進めている。

3 子ども食堂への支援

里石 地域交流の場として存在感を高めている「子ども食堂」について、その意義と開設や活動継続の支援について、知事の考えは。

知事 子ども食堂は、食事の提供だけでなく、子どもたちの居場所づくり、地域住民との交流など、地域コミュニティの活性化につながるものとして認識している。



子ども食堂の様子

3 観光地屋島の活性化

に取り組む。

里石 県を代表する観光地屋島の活性化において、県は高松市とどのように連携していくのか。

知事 今年度は、高松市が取り組むにぎわい創出の実証事業として、「やしまーる」館内などでの夜間ライトアップが予定されているほか、県も、瀬戸内海国立公園内にあるトイレの洋式化や、多言語化した案内板の整備を計画的に進めている。

県も参画する「魅力ある屋島再生協議会」では、廃屋施設への対応や、山上への交通手段の確保、史跡を生かしたにぎわいの創出などの課題を踏まえ「屋島活性化基本構想」を見直していくと伺っており、引き続き高松市と連携しながら、屋島の活性化を進めていく。